



商品を通じて持続可能な社会の実現を目指す 「美ら島応援もずくプロジェクト」



コープデリ連合会

「ともに」の力で、笑顔の明日を

コープデリ生活協同組合連合会

サステナビリティ推進部

長嶋 行子

2025年7月17日

はじめに: コープ(生協)とは

コープ(生協)は、消費者一人ひとりが、暮らしのさまざまな願いを協同して実現するために、事業や活動を通じて助け合う消費者の自発的な組織「生活協同組合」です。

組合員は「出資金」を出し、「利用」し、事業や活動の「運営」に参加・参画します。

 豊かなくらしのため、組合員みんなで商品やサービスを利用します



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

 出資金はみんなの願いを実現するために活用されています

 運営の主役は「組合員」



はじめに: コープデリグループとは

コープデリグループは、**6つの生協**(コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープデリにいがた)と**コープデリ連合会**、その**グループ会社**で構成されています。

関東信越の1都7県、計500万人を超える組合員を支える、日本最大規模の地域生協の連合会です。



コープデリグループ
会員生協合計
組合員数**545**万人
事業高**6,179**億円



はじめに:コープデリ連合会とは

コープデリ連合会は、コープデリグループの宅配事業や店舗事業などの事業基盤を担い、グループの連帯と共同化を推進することで会員生協を支えています。



コープデリグループのSDGs重点課題

「コープデリグループのSDGs重点課題
～2030年までの長期目標と中期方針～」は
コープデリグループが重点的に取り組むべき
課題と目標を掲げることで、社会における
役割と存在意義を明確に示し、SDGs達成
に貢献するべく策定しました。

未来へつなごう

コープデリグループは「未来へつなごう」を
SDGs 重点課題のスローガンとし、
グループ全体で目標達成に向けて取り組んでいます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

コープデリグループのSDGs 重点課題



重点課題01: 持続可能な生産と消費のために

01

持続可能な生産と消費のために

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます



2030年目標

エシカル消費対応商品の供給高構成比を2019年度比で2倍にします

※単位: % (供給高構成比)



人や社会、環境に配慮した商品を選んで使うエシカル消費に対応した商品の開発と拡大・普及を推進。あわせて、消費者(組合員)にエシカル消費への共感と行動を広めていきます。

商品を通じて
持続可能な社会の
実現を目指す
4つのプロジェクト



組合員とともに取り組む「美ら島応援もずくプロジェクト」



伊平屋島産もずく商品1点につき1円を「美ら島応援基金」に寄付

対象商品の例



宅配

CO・OP産直
沖縄県伊平屋島産
味付太もずく
(土佐酢)(米黒酢入り)



CO・OP産直 沖縄県伊平屋島産もずく



店舗

CO・OP
沖縄県伊平屋島産
味付もずく
(土佐酢)(米黒酢入り)

「美ら島応援もずくプロジェクト」(背景)



沖縄県伊平屋島は手つかずの自然が残り、透き通る海を通して降り注ぐ太陽光と、海底の白い砂による反射光がもずくの生育に最適な環境です。

そして、白い砂浜にはウミガメも産卵に訪れ、自然豊かな、まさに「美ら島」です。



「美ら島応援もずくプロジェクト」(背景)



しかし、近年、膨大な量のごみが海から砂浜に流れ着き、ウミガメをはじめとする生きものが育つ環境が脅かされています。

島では定期的に海岸清掃を行い、漂着したごみを回収していますが、島にはこのようなごみを処理する施設がなく沖縄本島まで運ぶ必要があり大きな負担となっています。



「美ら島応援もずくプロジェクト」の開始

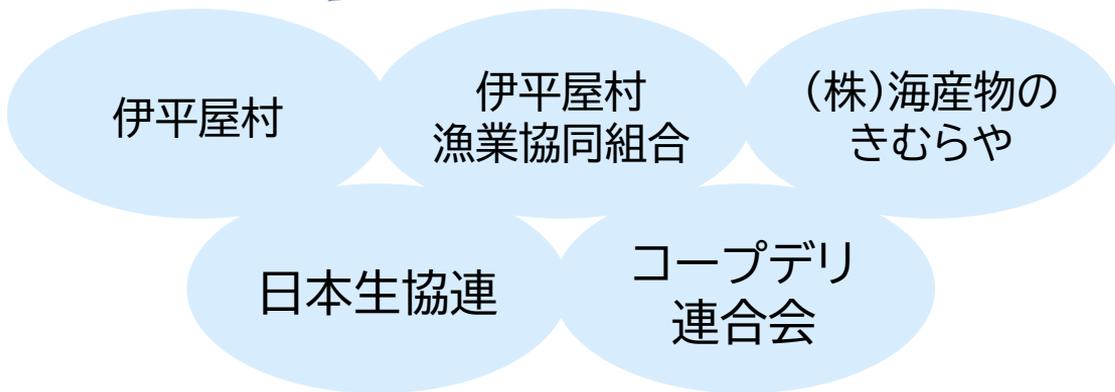


1987年 さいたま、ぐんまと取引開始
1992年 コープネット(当時)水産PB第1号

伊平屋村の自然環境と生物多様性保護や産業育成のための「伊平屋村美ら島応援寄附条例」に基づき、もずくの利用(販売)を通じて自然環境保護の取り組みを応援する目的で「覚書」を結びました



2010年7月1日 調印式



2010年 プロジェクトがスタート

伊平屋島のもずくを食べて応援



伊平屋島産もずく商品のお買い上げ1点につき、1円を「美ら島応援基金」に寄付し、漂着ごみの運搬・処理や砂地の浄化などに役立てます。



伊平屋のもずくを食べることが、島の美しい自然を守ることにつながります。



プロジェクトのストーリーを伝える

「美ら島応援もずくプロジェクト」がどのような想いで続けられているのか、組合員に向けて、広報紙、店舗の売り場、宅配のカatalog紙面など、さまざまな媒体でお伝えします。



伊平屋島との産地交流・研修会の実施



コープデリグループの役職員・組合員が毎年、伊平屋島を訪れ、海岸清掃を実施、もずく生産の様子を学び、生産者との交流を行っています。

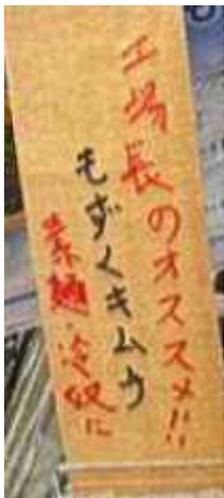


伊平屋島の想いをつなげる



参加者は産地交流・研修会で学んだ産地の想いを、宅配・店舗の売り場等で組合員に伝えます。単なる商品販売ではなく、どうしてこの商品をおすすめしているのか、プロジェクトの意義の理解とともに、商品利用につなげています。

生産者に教わった食べ方・調理法を店頭にて紹介



配達時に配布する「担当者ニュース」でPJを紹介

自然に手にとっていただける売り場作り



収穫期に合わせた旬獲り生もずくの販売では、プロジェクトを伝えるポスターや手書きのPOPに加え、ボリューム陳列や新商品の投入で前年を超える販売に。一般的なもずく酢以外の商品開発を進め、新たな購入層を開拓。



美ら島応援もずくプロジェクトの実績



- 環境と生きもののつながりを守ります
- 商品を通じて地域社会に貢献します
- 人と人のつながりを広げます

2024年度
寄付金額

216万3,698円

累計
寄付金額

2,118万9,964円

寄付の実績

2011年	1,330,252円
2012年	642,940円
2013年	1,311,033円
2014年	1,610,219円
2015年	1,741,930円
2016年	1,862,345円
2017年	1,723,602円
2018年	1,712,901円
2019年	1,249,563円
2020年	1,173,190円
2021年	1,377,477円
2022年	1,548,758円
2023年	1,742,056円
2024年	2,163,698円
寄付額累計	21,189,964円



ご静聴ありがとうございました



CO-OP
CO-OPERATIVE

コープみらい いはらきコープ とちぎコープ コープぐんま コープながの コープデリにいがた コープデリ連合会